

不審電話に関する事例

①令和6年8月27日、沖縄県西原町在住の住民（通報者の妹）に、役場職員のタマシロと名乗る人物から、「亡くなったお父さんの払い戻しの通知書を送った。」と電話があった。

途中で通報者に対応を代わったところ、途端に電話を切られたため、不審に思い役場に相談したことで発覚した。

担当課にタマシロという職員はおらず、還付金も発生していないことを説明。同日、他にも同様の不審電話の問い合わせがあった。

②令和6年9月4日、沖縄県浦添市在住の住民に、市役所職員のヨナミネと名乗る男性から、「過誤納金が6万円ほどある、4月に青い封筒で通知しているが返事がない。期限が切れる前に手続きをするように。」と電話があった。

電話を受けた住民は銀行名を伝えたが、怪しいと感じたため市役所窓口に行くことを伝え、翌日相談したことで発覚した。

担当課は関係各課に確認のうえ過誤納金が発生していないことを住民へ説明し、詐欺の可能性が高いことから注意喚起を行った。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）